

きれいな水

私たちの生活や環境にとって水は、必要不可欠なものです。水は蛇口をひねるとすぐに出ることで、身近なものです。それが、それはあたり前のことではありません。世界には日本のように便利ではなく、水がなくて困っている国がたくさんあります。世界の人口の半分以上が水道が使えるようになった今だが、現在は六億人以上の人々が安心して飲める水が身近になく、池や川、整備されていない井戸などから水を得ています。その中の半数近くがサハラ以南のアフリカ諸国に集中しているのです。私たちのような子どもたちが、水の重さに耐えながら、毎日遠い道のりを歩き続け、水を得ています。そのような環境の中で生きていく人々が沢山いるから、私たちは感謝することが大切です。

汚れた水や不衛生な環境が原因で命を落と

山添村立山添中学校 二年

岡田 柚沙

す可能性がありません。実際に毎日、危険な水を飲んで命を落とす子どもは八〇〇人もいます。その子どもたちの多くは、池や川、整備されていない井戸など飲用に適さない水に頼るしかありません。どれだけ汚れていても水は周りにその水しかありません。ようやく水源にたどりついたとしても、泥水や細菌、動物のふんなどが混じった危険な水です。そんな水を飲むと、下痢を起し命を落とす子どもたちが多くいます。子どもは抵抗力が弱く、自分の体を守れません。赤道近くの暑い気候の所では手に入る水の量が少ないから、身体や生活環境を清潔に保てなくなると、子どもたちは肺炎など、沢山の病気にかかりやすくなります。

不衛生な環境によって、命を落とす人は沢山いますが、安全できれいな水があればその

ような環境を変えられると思います。多くの国では、水くみは子どもたちの仕事です。水くみによって学校に通えない子どもたちも多くいます。そのような人々の生活の近くに、井戸ができれば沢山の子どもの人生が大きく変わります。安全な水が身近にあるのではないのでは、子どもの一生を左右する、というのは幼い子どもが命を落とす主な原因は下痢です。その六割が汚れた水や不衛生な環境によるものらしいです。だから、子どもたちには下痢による脱水症をくり返すうちに、他の病気にかかりやすくなります。このような病気や水を得るために、私たちのように学校に通うこともできず、子どもたちの将来がかぎられます。なので水によって人生が大きく変わると思います。

私たちは水にあまり困っていません。だからこそ私たちがなにか出来ることはないかなと、この作文を通して考えました。でも、私はまだ中学生でまだ子どもです。そんな私でも出来ることといえば、とても少ないですが力になれたらいいなと思います。まず一つめは水のむだづかいをやめることです。むだづ

かいをしてはいけないことを分かっている忘れていたり、そのままにしてしまうことがあるので気をつけようと思います。地球にある水は自然のものなので限りがあります。そのうち人間が利用できる水は全体の約〇、〇パーセントにすぎません。だから水を大切に使い、できる限り使う水を少なくすることに心がけようと思いました。二つめは募金です。募金といっても私たちは大きな額のお金は募金することはむづかしいです。だけど、多くの人々が一円でも募金することで大きな額のお金が集まります。そのお金が困っている人たちに寄付されるので、そのような人たちが少なくなればいいなと思います。世界中の人々が身近な場所できれいな水を使えるようになってほしいです。